## 教育支援

## 不登校児童生徒支援は

# 自己肯定感

## 仲間意識向

える活動を通して、自己 児童生徒同士が関わりあ 加も予定している。 館が実施する事業への参 めることを狙いとしてい 人ひとりに合った活動や、 また、児童館、 仲間意識を高 児童生徒一 学習活動や

おこれ

≢さ き 昌樹 議員

通っている。 肯定感や、 体験活動等、 に2~3名の児童生徒が

改修は。 15 くじらルームの耐震

の必要があれば計画行っ て改修をしたいと思って を把握したうえで、 寿命化計画の方で、 っていないが、 耐震改修の対象にはな 施設の長 改善 現状

## 藤本 教育次長



希望により随時開設であ

昨年までは、保護者の

橋田 教育次長

今年度から、

浜松教育

について問う。

状況や地域とのつながり

くじらルームの利用

が利用しており、

定期的

等が指導に当たっている。

教育研究所研究員

現在は4名の児童生徒

スクールソーシャルワー

教育相談員を中心として 集会所の2階で常設とし、

天井の部分にひび割れがみられる くじらルーム

倒れた竹が通行を 妨げている避難階段

右

## 防災対策



コロナ感染症対策

草が生い茂った避難道(下)

## 避難道の管理 見直しを

## 必要あれば検討

地域で管理が難しくなっ

現状がある。それぞれの 管理が行き届いていない うになった。全ての所に る住民の声を多く聞くよ いのではないかと心配す

ている所が多く出てきて

での対応をお願いしてい

管理での予防伐採は

持管理については各地区 ては町により行うが、 難施設の機能管理につい

町の方で

対処できないか。 いると思うが、

現時点では困難。

設置の検討をしていく。 ていく必要がある。 替性など、 は、必要性、 所があれば新たな場所に な避難道の設置について どうしても必要という 計画外路線となる新た 個別に検証や検討し 総合的に判断 緊急性、 代

【その他の質問】 学校、 保育所における

2020.11.1 議会だより くましお

維

より修繕、

なっている。

避難道や避

るような場合には、

は、

ほとんど通行できな

現在の避難道や避難階段 大きな地震がくれば

德廣 情報防災課長